

平成 2 8 年

士幌町第6期町づくり総合計画・地方創生策定
及び新拠点「道の駅」検討特別委員会会議録

平成28年1月20日

<p>説明</p>	<p>細 井 委 員 長</p>	<p>おはようございます。和田委員におかれましては、所用にて若干遅れるというふうに連絡が入りましたので、お知らせいたします。</p> <p>去る14日に引き続き、土幌町第6期町づくり総合計画・地方創生策定及び新拠点「道の駅」検討特別委員会を再開いたします。</p> <p>本日は、これまでに各委員から質疑を受けて、検討または見直すとなっておりました項目について説明を求めます。総務企画課企画グループ主幹。</p>
	<p>石垣総務 企 画 課 企 画 グ ル ー プ 担 当 主 幹</p>	<p>総務企画課、石垣です。それでは、審査をいただいております第6期町づくり総合計画案について、委員の皆さんの意見をもとに記載内容を変更した箇所について説明したいと思いますので、お手元の新旧対照表についてごらんいただきたいというふうに思います。</p> <p>それでは、変更箇所ですけれども、まず35ページの2-2、医療ですけれども、変更箇所については現状の箇所であります。医師、看護師確保の困難性が一層高まる中、公立病院改革プランを実践するなど、経営改善に努めますという現行案を、朱書きのところを変更箇所でありますけれども、医師、看護師確保の困難性が一層高まる中、庁内改革検討委員会で協議を行うなど、経営改善に努めますというふうに改めております。</p> <p>同じく、主な課題と施策の(1)、国保病院の施策の5つの施策についてですけれども、①番目を削除しまして、②番目を①と改め、③番目を削除し、④、⑤を②、③に改め、④の訪問看護の充実など地域包括ケアシステムの推進に努めますという施策を追加しております。</p> <p>裏面に行きまして、50ページの4-2、住宅、宅地、移住定住の分野ですけれども、変更箇所につきましては主な課題と施策、(2)の住宅の施策であります。4本の施策につきまして、①、民間アパートの新築数や老朽状況を踏まえつつ、子育て世帯など多様な住宅ニーズを把握し、計画的に公営住宅の建てかえを進めます。あわせて、既存公営住宅の断熱改修など、居住水準向上に必要な改善も行います。②番目、空き家などを活用し、若年層も入居しやすい形で住宅改修するなど、多様な需要に対応できる住宅の確保により定住促進を図りますということで、2つの施策に内容をまとめております。</p> <p>次に、66ページ、5-3の商業ですけれども、変更箇所につきましては主な課題と施策の(2)、経営安定の施策であります。ここにつきましては、変更案のほうに朱書きしてありますけれども、「商工会による」という文言を追加したところであります。</p> <p>次に、74ページの6-2、男女共同参画の変更箇所につきましては、主な課題と施策の(3)、女性の登用の主な課題であります。審議会、各種委員会等への女性の登用率はいまだ低い状況ですという現行案を</p>

質疑

	<p>審議会委員等への女性登用率は、前期総合計画の目標値に到達せず、いまだ低い状況ですというふうに内容を変更したところであります。</p> <p>以上、基本計画の記載内容5カ所について変更したところであります。</p> <p>説明については以上です。</p>
細井委員長	<p>以上で土幌町第6期町づくり総合計画の策定について全ての説明が終わりました。</p>
大西委員	<p>ここで総合計画全般を通じて質疑を行います。ございませんでしょうか。大西委員。</p> <p>時間があるので聞きたいのですが、10カ年計画で町としてこれはやるべき施策だと大きい目標にしてつくったようなものは何かあるのですか、この中で、どうですか。ただ羅列して、前回できなかったやつをのせて、新規も余り、見たらこれというのないのだけれども、目玉になるような施策は何かありますか。</p>
細井委員長 小林町長	<p>町長。</p> <p>それでは、今回の事業については総合戦略の中に含めた中を具体的に事業として位置づけをしているわけでありましてけれども、とりわけそれぞれ目標的には活性化あるいは移住、定住ということと、それから結婚、出産、子育てということと安心して住み続けるということとありますけれども、事業的にはいろいろあるのでありますけれども、子育て支援条件を整えていくということの中で大きな事業としては、10カ年の中では認定こども園の改修をせざるを得ないだろうということで、ハード的にはそういう事業を位置づけているところでありますけれども、あとは病院を中心とした福祉村内の地域包括ケアシステムを確立していくという、そういう取り組みを次回の中で取り組んでいくわけでありましてけれども、いずれにしても5カ年で中間的な総括をしながら推進をしていきたいというふうに考えているところであります。</p>
細井委員長 大西委員	<p>10番、大西委員。</p> <p>これから10年間いろんな、3年ごとにローリングして見ていくのですけれども、今この中の大体大まかなのは人口減にどう対処していくのかなというのが大きな目標になっていくのだと思うのです。子育て支援だとかいろんな。だけれども、だからといって人口減というのは避けられない問題だと思うのです。人口減になったら何が土幌町困るのかというものをよく考えて、それに特化して困るところをやればいいのであって、うちは今6,100だか200ですけれども、上土幌町は5,000ぐらいだと思うのです。上土幌はうちより1,000人も少ないから困っているかといったら、困っていないのですよね、別に大して。1,000</p>

人のまちだってあるわけですから、これはふえたほうが面倒くさいのだと思うのです。どんどん、どんどんふえると学校ふやさなければならぬとかなんとかと大変なことになって、音更なんかも木野東小学校が、行く行くは減るのわかっている、やっぱり生徒がふえていけば学校増築していかなければならぬということで大変になって、うちらなんかは今本州で一番問題になっている待機児童なんてあり得ないのです。だから、多くて困ることもあるし、少なくとも困ることあるのです。ですから、人口減で困ることに特化して、それに対する対策を、全部を人口減のしようと思っても無理なので。ただ、そこで町が輝く町であれば、人口減でも私はしようがないのだと思うのです。これは、もうやむを得ぬことだと思うのです。ですから、小さなまちでも輝いているまちってありますし、人口減というよりは、そこで住んでいる人たちの所得をどうふやしていくとか、そういうことが大事なのだと思うのです。だから、少なくとも私はそれほど、土幌で1,000人減った、5,000人になったから何が困るだといったら、交付税が減ったってそれだけ人口減っているのだからいいだろうとか、いろいろあるのだと思うのですけれども、本当に人口減になって困ることを特化して、これから10年間で研究しながら進めていってほしいなと思っています。

細 井
委員 長
小林町長

町長。

今大西委員からお話がありましたように、必ずしも今地方創生ということで、一昨年度の増田さんの消滅可能性ということがあって、そういうことで国に悪い言い方すればおどされて、ゼロにするゼロ競走、ただ競走のような形であるので、それはどうなのかなということでもありますけれども、そういう面ではもう少し冷静に地域のこと、将来のことを考えていくということでもありますから、産業的にいけばうちはやっぱり農業の町ですから、農業をどうしていくかということでもありますし、そこに住んでいる人がどうすれば安心して住んでいけるかという、医療であるとか福祉であるとかということを進めていくということと、あと地域の中で生きがい、住みやすさを感じていけるかというようなことを行政として取り組んでいかなければならないのでありますけれども、ただいずれにしても、うちは雇用があるのでありますけれども、それに住宅状況がついていないという面もあるのだと思いますから、いずれにしても人口対策についても進めていくのですけれども、必ずしも今地方創生で言うようなことに余り右往左往しないということに取り組んでいきたいというふうに思っています。

細 井
委員 長

ほかにございませんか。

(な し)

細 井 委員長 質疑がなければ、質疑を終結し、討論を行います。

(な し)

細 井 委員長 それでは、討論なしと認め、これから採決をいたします。
本案は、原案のとおり決定することに異議ございませんか。

(異 議 な し)

細 井 委員長 異議なしと認め、したがって本案は原案のとおり可決されました。
以上をもって本会議から付託された土幌町第6期町づくり総合計画の策定についての審査を終了いたします。

審査の結果、付託を受けた議件について可決すべきものと決定いたしました。審査に当たりまして各委員、町理事者並びに職員の皆さんの協力に感謝申し上げます。

これにて土幌町第6期町づくり総合計画・地方創生策定及び新拠点「道の駅」検討特別委員会を閉会いたします。

(午前 9時41分)